

共生・協働の
地域社会づくり「健康・協力・互助・前進」を合い言葉に、
助け合いの精神が息づく地域づくり

霧島市隼人町の市街地にある富隈地区自治公民館。市全体で89ある地区自治公民館のうち、人口約1万2千人、世帯数約5400世帯を抱える最大規模の地区自治公民館です。

「子どもと触れ合うのはとても楽しいよ。自分たち役員がやりたいと思った活動をどんどんやってみて、結果、子どもたちや地域の方々が満足してくればいいんじゃないかな。新しい活動をどんどん取り入れていきたいね」とエネルギーに語るのは、館長の柳貞光さん。

富隈地区自治公民館では、子育て支援や環境美化、健康増進を目的とした活動が特に盛んです。



みんなでおやつを食べながら、育児について情報交換する「育児応援隊みんみん」の活動

児童委員、民生委員で構成する「育児応援隊みんみん」は、主任児童委員の活動をもっと目に見える形で知ってもらおうと始めた独自の取り組みで、毎月定期的に開かれている子育てサロン。60歳以上の方々が構成される富隈地区長寿会や、ボランティアの方々や協働して、地域と連携したさまざまな子育て支援のプログラムを企画しています。7年目になる現在では、地区外から通って来るお母さんと子どもさんもいます。乳幼児を持つお母さん方にとって、仲間づくり・情報交換の場として定着しつつあります。

また、毎月第2・4火曜日には「子どもパトロール隊」が子どもたちの登下校時の見守りを実施。長寿会が中心となって取り組んでおり、毎回の参加者が30人を超えることも。元気な高齢者の方々が一致団結して行動する姿は頼もしいかぎりです。長寿会では、「輪」になって広げよう。

シニアのぎずな」をキャッチフレーズに、NPO法人設立の動きもあるなど、新たな動きが広まりつつあります。

さらに、体



「子どもパトロール隊」の結団式

育行事も多種多彩で、愛護ドッジボール大会やグラウンドゴルフ大会、室内競技をメインとした福祉スポーツ大会などが毎年盛大に開催されています。

昨年11月に行われた「健康づくり

歩こう会」は、秋空のもと、環境保全推進委員も参加して隼人新港の堤防約6kmをゴミ拾いをしながら散策するというユニークなものでした。

就任から8年目を迎えた柳館長の目下の課題は、「地域で働いている元気な若い世代の方々が公民館活動にどうやって引き込むか」とのこと。今年度、新たに霧島市の全ての自治会で構成する霧島市自治公民館連絡協議会の会長にも就任した柳館長。地域のネットワークをフルに活用しながら、地域の活性化に汗を流す日々がこれからも続きそうです。

代表者からひとこと



館長の柳貞光さん(左)と公民館主事の竹田美津子さん(右)

地区自治公民館の役割は、人と人とのつながりをいかにしてつくるかです。人は、支え合いが大事だから。



ゴミ拾いも兼ねて実施した昨年11月の歩こう会

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階)

◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内)

関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。

TEL 099(286)2241

TEL 099(221)6613